

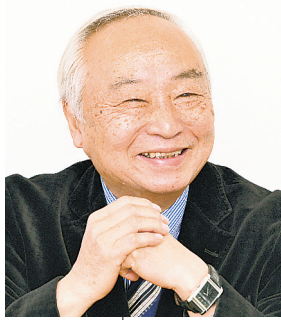
# 論

# 説

50年先の社会や産業や生活の基盤になる国立社会保険人口問題研究所の「将来推計人口」は5年ごとに示される。

2070年を最終とする今回の注目を拾ってみよう(データは最も可能性の高い中位推計)。

平均年齢は31年に50歳を超え、半世紀後には54歳となる。同窓会やパーティー



## 宮武 剛

## 将来推計人口を読む

の参加者の平均ではない。赤ちゃんも含め、日本人全員集合の平均である。

平均寿命は男86歳、女92歳。65歳以上人口は43年にほぼ4000万人で頂点に達し、高齢化率は最終的に39%を記録する。

この未知との遭遇にどう対処するか。

で、人材も費用も医療より介護へ重点を置く施策へ切り換えを迫られる。

0~14歳の年少人口は1980年代の2700万人規模から2070年には800万人弱まで痩せ細る。

最大の要因は「結婚できない症候群」だ。05年生まれ女性の50歳時の未婚率

33%、北欧諸国も多い(経済開発協力機構調べ)。同棲などの事実婚や未婚の母に冷たい傾向や支援策の欠如を抜本的に改めよう。古い一律の結婚観や家族像に対する「女性たちの反乱」と深く認識しながら

少子化に取り組む覚悟がない症候群」だ。05年生まれ女性の50歳時の未婚率

る。

並みの光景が全国的に広がっていく。もともと推計人口は過去の動向を将来に投影させ、少子化、外国人対策などの政策的効果は織り込まない。ただし、出生や死亡に比べ国際人口移動は国内外の経済や政治や大災害の影響に大きく揺れ動く。

現実には推計通りの大幅増になるのか。

外国人労働者の人権を無視・軽視と批判が強い「技能実習」制度の発展的解消がやっと決まった。来日を促す魅力的な職場づくりも、配偶者や子どもらが安心して暮らし、学べる地域づくりもこれからだ。

# この予測値がこわい

高齢者扱いは75歳以上を原則に定年も年金支給も見直し、社会も個々人も人生設計を改めるほかない。キ

ユア(治療)よりケア(介護)のニーズは高まる一方

は19・1%(悲観的な低位推計では25・6%)。

結婚不能の要因を徹底的につぶしていきたい。特に非正規労働者の正規化や結婚を最初から諦めるような低賃金の一掃が急務だ。

みやたけ・ごう NPO法人福祉フォーラム・ジャパン副会長、学校法人・社会医学技術学院顧問

日本の婚外子は誕生総数のわずか2・4%。フランス62%、米国41%、ドイツ

都新宿区(外国人比率12%)

増加は絵に描いた餅に終わる。(本紙論説委員)